

2016年3月期 第2四半期 決算実績 概況資料

2015年11月12日

株式会社西武ホールディングス (9024)

<http://www.seibuholdings.co.jp/>

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 主な取り組み及び営業指標	P7
III. セグメント情報	P13
IV. 決算実績 詳細資料	P18
V. 2016年3月期業績予想	P22

I. エグゼクティブ・サマリー

2016年3月期第2四半期 決算実績

	2015/3期 第2Q	2016/3期 第2Q	対前年同期	2016/3期 第2Q予想	対予想
営業収益	2,391 億円	2,508 億円	+117 億円	2,489 億円	+18 億円
営業利益	281 億円	381 億円	+99 億円	320 億円	+61 億円
償却前営業利益	477 億円	579 億円	+101 億円	518 億円	+60 億円
経常利益	241 億円	342 億円	+101 億円	277 億円	+65 億円
親会社株主に帰属する四半期純利益	153 億円	242 億円	+88 億円	202 億円	+39 億円

決算実績ポイント

- 営業収益は、インバウンドを確実に取り込んで宿泊部門が好調なホテル・レジャー事業（前年同期比 +61億円）を中心に順調に推移したことなどにより、対前年同期で大幅増収となり、対予想でも増収。
▶ 3ページ
- 営業利益は、増収による増益に加え、コスト減少などもあり、対前年同期・対予想ともに増益。
▶ 4ページ
- 営業利益・経常利益は、4期連続の増益で過去最高益を更新。
 - <西武鉄道・鉄道業>
 - 運輸収入 対前年同期+2.8%（定期+3.1%、定期外+2.6%）
 - <ホテル業>
 - 客室稼働率 対前年同期+4.5pt（シティ+2.6pt、リゾート+6.1pt）
 - 平均販売室料 対前年同期+12.3%（シティ+14.5%、リゾート+7.7%）

業績予想

- 2016年3月期（通期）の連結業績予想を上方修正いたします。

▶ 22ページ

I. エグゼクティブ・サマリー

セグメント別営業収益（対前年同期、対予想）

	2015/3期	2016/3期	対前年同期	2016/3期	対予想	摘要
	第2Q	第2Q		第2Q予想		
都市交通・沿線	779 億円	791 億円	+11 億円	795 億円	▲3 億円	鉄道業において、雇用情勢の堅調な推移や沿線での積極的なイベント活動、沿線観光地のプロモーション強化のほか、消費増税反動減の解消があったことにより、対前年同期で増収。予想に対しては、沿線レジャー業での8月後半の天候不良の影響などにより減収。
ホテル・レジャー	874 億円	936 億円	+61 億円	927 億円	+8 億円	レベニューマネジメントの継続と、増加を続けるインバウンドを確実に獲得できたことで、シティ・リゾートともに宿泊部門が好調に推移し、対前年同期で大幅増収となり、対予想でも増収。
不動産	239 億円	251 億円	+12 億円	245 億円	+5 億円	グランエミオ大泉学園の開業や前期に実施した軽井沢・プリンスショッピングプラザの増床に伴う貸付床面積の増加などにより対前年同期で増収となり、対予想についてもテナント売上が好調に推移したことなどにより増収。
建設	439 億円	427 億円	▲11 億円	408 億円	+19 億円	前年同期に大型のグループ内工事の竣工があったことなどにより対前年同期で減収となったが、工事進捗ならびに前期からの繰越工事の増加により対予想では増収。
ハワイ	68 億円	86 億円	+18 億円	89 億円	▲2 億円	レベニューマネジメントの強化や団体客の取込みにより対前年同期で増収となったが、予想に対しては減収。
その他	216 億円	226 億円	+9 億円	225 億円	+0 億円	西武ライオンズの観客動員数が増加したことや、近江事業でバス事業が好調に推移したことにより、対前年同期及び対予想ともに増収。
調整額	▲227 億円	▲211 億円	+16 億円	▲201 億円	▲9 億円	
連結数値	2,391 億円	2,508 億円	+117 億円	2,489 億円	+18 億円	

I. エグゼクティブ・サマリー

セグメント別営業利益（対前年同期、対予想）

	2015/3期 第2Q	2016/3期		2016/3期		摘要
		第2Q	対前年同期	第2Q予想	対予想	
都市交通・沿線	129 億円	161 億円	+31 億円	143 億円	+18 億円	増収による増益に加え、電気動力費などコストの減少もあり、対前年同期及び対予想ともに増益。
ホテル・レジャー	56 億円	106 億円	+50 億円	77 億円	+28 億円	増収による増益に加え、退職給付費用の減少などもあり、対前年同期及び対予想ともに増益。
不動産	74 億円	82 億円	+7 億円	73 億円	+8 億円	増収により対前年同期及び対予想ともに増益。
建設	11 億円	10 億円	▲1 億円	2 億円	+7 億円	対前年同期では減収による減益となったが、対予想では増収による増益に加えて、利益率の改善により増益。
ハワイ	▲6 億円	▲4 億円	+1 億円	▲5 億円	+0 億円	対前年同期では増収により損益が改善。対予想では減収となったものの、原油安の影響による光熱費の減少などにより損益は予想並み。
その他	18 億円	23 億円	+5 億円	18 億円	+4 億円	増収により対前年同期及び対予想ともに増益。
調整額	▲1 億円	2 億円	+4 億円	10 億円	▲7 億円	
連結数値	281 億円	381 億円	+99 億円	320 億円	+61 億円	

I. エグゼクティブ・サマリー

セグメント別償却前営業利益 (対前年同期、対予想)



	2015/3期 第2Q	2016/3期 第2Q	2016/3期		摘要
			対前年同期	第2Q予想 対予想	
都市交通・沿線	233 億円	261 億円	+28 億円	244 億円 +17 億円	増収による増益に加え、電気動力費などコストの減少もあり、対前年同期及び対予想ともに増益。
ホテル・レジャー	110 億円	162 億円	+51 億円	134 億円 +28 億円	増収による増益に加え、退職給付費用の減少などもあり、対前年同期及び対予想ともに増益。
不動産	93 億円	103 億円	+9 億円	94 億円 +8 億円	増収により対前年同期及び対予想ともに増益。
建設	12 億円	11 億円	▲0 億円	4 億円 +7 億円	対前年同期では減収による減益となったが、対予想では増収による増益に加えて、利益率の改善により増益。
ハワイ	1 億円	5 億円	+3 億円	3 億円 +1 億円	対前年同期では増収により損益が改善。対予想では減収となったものの、原油安の影響による光熱費の減少などにより損益は予想並み。
その他	30 億円	35 億円	+5 億円	31 億円 +4 億円	増収により対前年同期及び対予想ともに増益。
調整額	▲4 億円	▲1 億円	+3 億円	6 億円 ▲7 億円	
連結数値	477 億円	579 億円	+101 億円	518 億円 +60 億円	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 主な取り組み及び営業指標	P7
III. セグメント情報	P13
IV. 決算実績 詳細資料	P18
V. 2016年3月期業績予想	P22

Ⅱ. 主な取り組み及び営業指標

第2四半期までの主な取り組み

Seibu Holdings

全体

- ・『西武グループ ダイバーシティ推進 基本方針』を制定
- ・「2015西武グループFAMツアー」や海外向けテレビCM、海外拠点拡充による外国人向けのプロモーション強化
- ・『東京ガーデンテラス紀尾井町（グランドプリンスホテル赤坂跡地開発計画）』上棟式を実施（2016年夏オープン予定）



東京ガーデンテラス紀尾井町
2015年9月14日撮影

都市交通・沿線事業

- ・訪日外国人のお客さま向けに、『フリーWi-Fiサービスチケット』を配布
- ・訪日外国人のお客さま向けに、西武新宿駅で4カ国語（英・中・韓・日）でのご案内を開始
- ・飯能・宮沢湖にムーミンの世界が体験できるテーマパーク「Metsä（メツア）」を誘致（2017年オープン予定）
- ・「（仮称）西武秩父仲見世通り 複合型温泉計画」の事業決定（2017年春オープン予定）
- ・高速バス『プリンスエクスプレス箱根芦ノ湖』の運行を開始



西武グループFAMツアー
（西武秩父の様子）

ホテル・レジャー事業

- ・『函館大沼プリンスホテル』及び『箱根仙石原プリンスホテル』において大規模リニューアル
- ・新宿プリンスホテル、サンシャインシティプリンスホテル「多通貨決済サービス」を導入
- ・ヨーロッパにおける誘客強化施策として(株)プリンスホテル パリ支店を設立
- ・仙台うみの杜水族館開業
- ・エプソンアクアパーク品川リニューアルオープン
- ・名古屋駅南再開発エリア「ささしまライブ24」に新たに建設される「グローバルゲート」内に、プリンスホテルとして名古屋初となるホテルの開業を決定（2017年秋オープン予定）



エプソンアクアパーク品川

不動産事業

- ・池袋線大泉学園駅に商業施設『グランエミオ大泉学園』を開業
- ・駅ナカ商業施設「エミオ池袋」第2期 オープン
- ・池袋旧日本ビル建替えおよび賃貸住宅『（仮称）エミリブ石神井公園』の工事に着手



エミオ池袋第2期イメージ

Ⅱ. 主な取り組み及び営業指標 営業指標の推移①

西武鉄道株式会社の鉄道業の主な営業指標

(人員単位：千人、金額単位：百万円)

		2013年 3月期 第2 Q	2014年 3月期 第2 Q	前年同期 増減率	2015年 3月期 第2 Q	前年同期 増減率	2016年 3月期 第2 Q	前年同期 増減率
輸送人員	定期	194,733	197,033	1.2%	197,556	0.3%	203,985	3.3%
	定期外	119,835	120,307	0.4%	119,223	▲ 0.9%	122,446	2.7%
	計	314,569	317,341	0.9%	316,780	▲ 0.2%	326,432	3.0%
旅客運輸 収入	定期	21,294	21,487	0.9%	21,458	▲ 0.1%	22,128	3.1%
	定期外	26,194	26,384	0.7%	26,263	▲ 0.5%	26,938	2.6%
	計	47,489	47,871	0.8%	47,721	▲ 0.3%	49,066	2.8%
運輸雑収		3,329	2,092	▲ 37.1%	2,028	▲ 3.1%	2,082	2.7%
収入合計		50,818	49,964	▲ 1.7%	49,750	▲ 0.4%	51,148	2.8%

- 消費増税反動減の解消があったことのほか、定期は雇用情勢の堅調な推移が、定期外は沿線での積極的なイベント活動、沿線観光地のプロモーション強化などがそれぞれ寄与。

Ⅱ. 主な取り組み及び営業指標 営業指標の推移②

ホテル・レジャー事業の主な営業指標

(室料：円、客数：人)

		2014年 3月期 第2Q	2015年 3月期 第2Q	対前年同期	2016年 3月期 第2Q	対前年同期
客室稼働率	シティ	80.3%	81.3%	+1.0pt	83.9%	+2.6pt
	高輪・品川エリア	84.7%	85.5%	+0.8pt	87.6%	+2.1pt
	リゾート	53.0%	50.3%	▲2.6pt	56.5%	+6.1pt
	軽井沢エリア	53.9%	58.4%	+4.5pt	64.0%	+5.6pt
	宿泊部門全体	70.6%	70.0%	▲0.6pt	74.5%	+4.5pt
平均販売室料	シティ	10,967	11,923	+956	13,653	+1,730
	高輪・品川エリア	10,642	11,829	+1,187	13,839	+2,011
	リゾート	14,790	15,624	+834	16,821	+1,196
	軽井沢エリア	30,848	34,125	+3,277	34,645	+521
	宿泊部門全体	11,984	12,892	+909	14,476	+1,584
宿泊客の内訳	邦人客	2,096,299	1,992,525	▲103,774	1,883,695	▲108,830
	外国人客	349,042	415,467	+66,425	592,436	+176,969
	計	2,445,341	2,407,992	▲37,349	2,476,131	+68,139

- シティでは、高い客室稼働率の維持に加え、平均販売室料が上昇。リゾートでは、客室稼働率および平均販売室料ともに上昇。外国人客数は、第1四半期から引き続き大幅に増加。
⇒インバウンドを確実に獲得できたことと、レベニューマネジメントの継続が寄与。

Ⅱ. 主な取り組み及び営業指標 営業指標の推移③

不動産事業の主な営業指標

(面積：千㎡)

		2014年 3月期 第2 Q	2015年 3月期 第2 Q	対前年同期	2016年 3月期 第2 Q	対前年同期
建物賃貸物件 の期末貸付面積	商業施設	207	226	+ 18	231	+ 5
	オフィス・住宅	58	57	▲ 1	58	+ 1
建物賃貸物件 の期末空室率	商業施設	1.9%	2.0%	+ 0.1pt	2.2%	+ 0.2pt
	オフィス・住宅	9.3%	6.8%	▲ 2.5pt	15.0%	+ 8.2pt

建設事業の主な営業指標

(金額単位：百万円)

	2014年 3月期 第2 Q	2015年 3月期 第2 Q	対前年同期	2016年 3月期 第2 Q	対前年同期
期首繰越高	58,012	62,321	+ 4,308	84,335	+ 22,014
期中受注高	39,363	45,142	+ 5,779	42,406	▲ 2,735
期末繰越高	73,003	75,979	+ 2,975	95,621	+ 19,642

Ⅱ. 主な取り組み及び営業指標 営業指標の推移④

ハワイ事業（ホテル）の主な営業指標

	2014年 3月期 第2Q	2015年 3月期 第2Q	対前年同期	2016年 3月期 第2Q	対前年同期
客室稼働率	71.9%	70.7%	▲ 1.2pt	72.9%	+ 2.2pt
平均販売室料（円）	19,478	23,878	+ 4,400	28,940	+ 5,062
平均販売室料（米ドル）	223.89	234.10	+ 10.21	241.57	+ 7.47

- I. エグゼクティブ・サマリー P2
- II. 主な取り組み及び営業指標 P7
- III. セグメント情報 P13**
- IV. 決算実績 詳細資料 P18
- V. 2016年3月期業績予想 P22

Ⅲ. セグメント情報

①都市交通・沿線事業

都市交通・沿線事業

(金額単位：百万円)

	2015/3期 第2 Q	2016/3期 第2 Q	増減額	摘要
営業収益	77,992	79,126	+1,133	
鉄道業	50,491	51,825	+1,334	雇用情勢の堅調な推移や沿線での積極的なイベント活動、沿線観光地のプロモーション強化のほか、消費増税反動減の解消があったことにより、対前年同期で増収。
バス業	12,661	13,158	+497	「西武バスIC定期券」の導入効果などにより路線バスが好調に推移し、対前年同期で増収。
沿線レジャー業	11,485	11,603	+118	
その他	3,353	2,537	▲815	前期に子会社を売却したことなどにより減収。
営業利益	12,989	16,124	+3,134	増収による増益に加え、電気動力費などコストの減少もあり、対前年同期で増益。
償却前営業利益	23,393	26,194	+2,800	

Ⅲ. セグメント情報

②ホテル・レジャー事業

ホテル・レジャー事業

(金額単位：百万円)

	2015/3期 第2Q	2016/3期 第2Q	増減額	摘要
営業収益	87,490	93,621	+6,130	
ホテル業（シティ）	48,136	51,643	+3,506	レベニューマネジメントの継続と、増加を続けるインバウンドを確実に獲得できたことで、平均販売室料が上昇するなど宿泊部門が好調に推移し、対前年同期で大幅増収。
ホテル業（リゾート）	19,007	20,235	+1,227	レベニューマネジメントの継続と、増加を続けるインバウンドを確実に獲得できたことで、客室稼働率および平均販売室料が上昇するなど宿泊部門が好調に推移し、対前年同期で増収。
ゴルフ場業	7,326	7,229	▲ 96	
その他	13,020	14,513	+1,492	仙台うみの杜水族館の開業やエプソン アクアパーク品川のリニューアルオープンなどにより、対前年同期で増収。
営業利益	5,602	10,626	+5,023	増収による増益に加え、退職給付費用の減少などもあり、対
償却前営業利益	11,076	16,226	+5,150	前年同期で増益。

Ⅲ. セグメント情報

③不動産事業・建設事業

不動産事業

(金額単位：百万円)

	2015/3期 第2Q	2016/3期 第2Q	増減額	摘要
営業収益	23,949	25,158	+1,208	
不動産賃貸業	15,158	15,899	+740	グランエミオ大泉学園の開業や前期に実施した軽井沢・プリンスショッピングプラザの増床に伴う貸付床面積の増加などにより、対前年同期で増収。
その他	8,790	9,258	+467	駅売店 (TOMONY)の好調などにより、対前年同期で増収。
営業利益	7,465	8,203	+737	
償却前営業利益	9,354	10,305	+950	増収による増益。

建設事業

(金額単位：百万円)

	2015/3期 第2Q	2016/3期 第2Q	増減額	摘要
営業収益	43,988	42,798	▲1,190	
建設業	31,568	31,198	▲369	前年同期に大型のグループ内工事の竣工があったことなどにより、対前年同期で減収。
その他	12,420	11,599	▲820	請負工事減少などにより、対前年同期で減収。
営業利益	1,133	1,021	▲112	
償却前営業利益	1,270	1,176	▲93	減収による減益。

Ⅲ. セグメント情報

④ ハワイ事業・その他

ハワイ事業

(金額単位：百万円)

	2015/3期 第2 Q	2016/3期 第2 Q	増減額	摘要
営業収益	6,832	8,637	+ 1,805	レベニューマネジメントの強化や団体客の取込みにより、対前年同期で増収。
営業利益	▲ 667	▲ 485	+ 182	増収により営業損益が改善。
償却前営業利益	178	546	+ 368	

その他

(金額単位：百万円)

	2015/3期 第2 Q	2016/3期 第2 Q	増減額	摘要
営業収益	21,640	22,628	+ 987	西武ライオンズの観客動員数が増加したことや、近江事業でバス事業が好調に推移したことにより、対前年同期で増収。
営業利益	1,852	2,377	+ 525	増収による増益。
償却前営業利益	3,014	3,591	+ 576	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 主な取り組み及び営業指標	P7
III. セグメント情報	P13
IV. 決算実績 詳細資料	P18
V. 2016年3月期業績予想	P22

IV. 決算実績 詳細資料 連結損益計算書サマリー

Seibu Holdings

(金額単位：百万円)

	2015/3期 第2 Q	2016/3期 第2 Q	増減額	摘要
営業収益	239,125	250,849	+ 11,724	都市交通・沿線：+ 11億円、ホテル・レジャー：+ 61億円、 不動産：+ 12億円、建設：▲ 11億円、ハワイ：+ 18億円、 その他：+ 9億円
営業利益	28,195	38,143	+ 9,947	都市交通・沿線：+ 31億円、ホテル・レジャー：+ 50億円、 不動産：+ 7億円、建設：▲ 1億円、ハワイ：+ 1億円、 その他：+ 5億円
営業外収益	1,249	1,136	▲ 113	
営業外費用	5,343	5,002	▲ 340	支払利息：▲ 3億円
経常利益	24,101	34,276	+ 10,174	
特別利益	378	731	+ 352	
特別損失	1,830	1,629	▲ 200	
税金等調整前四半期純利益	22,650	33,377	+ 10,727	
法人税等	7,251	9,062	+ 1,811	
四半期純利益	15,399	24,315	+ 8,916	
非支配株主に帰属する 四半期純利益	48	98	+ 50	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	15,350	24,216	+ 8,866	

IV. 決算実績 詳細資料 営業外・特別損益

Seibu Holdings

(金額単位：百万円)

	2015/3期 第2Q	2016/3期 第2Q	増減額	摘要
営業利益	28,195	38,143	+9,947	
営業外収益	1,249	1,136	▲ 113	
受取利息・配当金	310	360	+49	
バス路線運行維持費補助金	233	226	▲ 7	
持分法による投資利益	15	17	+2	
その他営業外収益	690	531	▲ 158	
営業外費用	5,343	5,002	▲ 340	
支払利息	5,153	4,803	▲ 349	
その他営業外費用	190	199	+9	
経常利益	24,101	34,276	+10,174	
特別利益	378	731	+352	
固定資産売却益	304	294	▲ 9	
工事負担金等受入額	5	63	+58	
補助金収入	54	98	+44	
その他特別利益	14	273	+259	
特別損失	1,830	1,629	▲ 200	
減損損失	81	180	+99	
固定資産売却損	10	83	+73	
固定資産除却損	585	407	▲ 178	
工事負担金等圧縮額	5	63	+58	
固定資産圧縮損	44	80	+36	
訴訟損失	7	715	+708	判決確定に伴う計上
再開発費用引当金繰入額	460	—	▲ 460	所沢車両工場跡地
その他特別損失	636	98	▲ 537	
税金等調整前四半期純利益	22,650	33,377	+10,727	

IV. 決算実績 詳細資料 連結貸借対照表サマリー

Seibu Holdings

(金額単位：百万円)

	2015/3期 期末実績	2016/3期 第2Q末	増減額	摘要
資産 合計	1,519,911	1,508,386	▲ 11,525	
流動資産	104,618	95,807	▲ 8,811	受取手形及び売掛金▲6,228 現金及び預金▲3,813
固定資産	1,415,293	1,412,579	▲ 2,714	投資有価証券▲2,277 有形・無形固定資産▲1,010
負債 合計	1,152,474	1,123,706	▲ 28,768	
流動負債	323,334	296,670	▲ 26,664	短期借入金の減少▲13,022 支払手形及び買掛金▲5,629 設備投資未払金などの減少
固定負債	829,139	827,036	▲ 2,103	訴訟損失引当金▲7,647 長期借入金+6,980
純資産 合計	367,437	384,679	+ 17,242	利益剰余金+22,881 退職給付に係る調整累計額▲3,878
有利子負債 期末残高	840,329	830,648	▲ 9,680	
Net有利子負債	816,742	810,875	▲ 5,866	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 主な取り組み及び営業指標	P7
III. セグメント情報	P13
IV. 決算実績 詳細資料	P18
V. 2016年3月期業績予想	P22

V. 2016年3月期連結業績予想

金額単位：億円	2016/3期 通期予想	2016/3期 5月予想	対5月予想 増減率	2015/3期 実績	対前期 増減率
営業収益	4,997	4,987	+ 0.2%	4,817	+ 3.7%
営業利益	605	543	+ 11.4%	496	+ 22.1%
償却前営業利益	1,017	956	+ 6.4%	900	+ 13.0%
経常利益	527	461	+ 14.3%	420	+ 25.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	365	325	+ 12.3%	349	+ 4.8%

(注) 金額は記載単位未満を切り捨てており、諸比率は四捨五入によって表示しております。

第2四半期連結累計期間までの業績等を踏まえ、平成27年5月12日に公表いたしました**通期の連結業績予想を変更**しております。

- **営業収益** 4,997億円
第2四半期連結累計期間までの業績が想定を上回ったことなどにより、従来予想から9億円上方修正。
- **営業利益** 605億円
増収に伴う増益に加え、各種コストの減少などもあり、従来予想から62億円上方修正。
- **経常利益** 527億円（従来予想から65億円上方修正）
- **親会社株主に帰属する当期純利益** 365億円（従来予想から40億円上方修正）

(注) 連結業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

V. 2016年3月期連結業績予想

セグメント別営業収益	金額単位：億円	2016/3期	2016/3期	対5月予想	2015/3期	対前期
		通期予想	5月予想	増減率	実績	増減率
都市交通・沿線事業		1,570	1,574	▲ 0.2%	1,557	+ 0.8%
ホテル・レジャー事業		1,844	1,836	+ 0.5%	1,751	+ 5.3%
不動産事業		495	489	+ 1.2%	485	+ 2.1%
建設事業		962	943	+ 2.1%	979	▲ 1.7%
ハワイ事業		209	216	▲ 3.4%	139	+ 50.0%
その他		372	376	▲ 1.1%	365	+ 1.9%
調整額		▲ 458	▲ 449	-	▲ 462	-

セグメント別営業利益	金額単位：億円	2016/3期	2016/3期	対5月予想	2015/3期	対前期
		通期予想	5月予想	増減率	実績	増減率
都市交通・沿線事業		252	234	+ 7.7%	230	+ 9.7%
ホテル・レジャー事業		172	134	+ 28.2%	105	+ 63.6%
不動産事業		137	132	+ 4.0%	147	▲ 6.6%
建設事業		25	20	+ 23.5%	28	▲ 8.4%
ハワイ事業		4	4	+ 2.3%	▲ 13	-
その他		10	6	+ 43.1%	8	+ 14.3%
調整額		2	9	▲ 73.5%	▲ 10	-

セグメント別償却前営業利益	金額単位：億円	2016/3期	2016/3期	対5月予想	2015/3期	対前期
		通期予想	5月予想	増減率	実績	増減率
都市交通・沿線事業		464	446	+ 4.0%	445	+ 4.1%
ホテル・レジャー事業		288	250	+ 15.1%	216	+ 33.2%
不動産事業		180	176	+ 2.3%	186	▲ 3.3%
建設事業		29	24	+ 20.0%	31	▲ 5.2%
ハワイ事業		24	23	+ 5.9%	3	+ 644.4%
その他		35	33	+ 7.3%	33	+ 8.2%
調整額		▲ 5	1	-	▲ 15	-

(注)

金額は記載単位未満を切り捨てており、諸比率は四捨五入によって表示しております。